

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来!チャレンジ21」](#) > [2004年放送分](#) > 8月7日放送分 連携プレーでにぎわいを～松山OBの商店街がOB人材を生かす～

8月7日放送分 連携プレーでにぎわいを～松山OBの商店街がOB人材を生かす～

7日(TX・TVO・TSC)

8日(TVH・OX・TVA・RCC・TVQ・OTV)

9日(BSJ)

【企業レポート】愛媛県松山市の松山中央商店街連合会は松山市の中心市街地に形成されている4つの商店街振興組合が集まって結成した連合会。商店街活性化のため、民間小売大企業のOBを商店街マネージャーとして招聘し、このマネージャーの下でアイデアに富んだソフト面の事業を展開している。最先端の小売のノウハウを培ったOB人材をうまく活用し、行政との緊密な連携で商店街の活性化を図る同連合会の取り組みを紹介する。

ビジネス・ホット情報 「第二創業コース」の開設について

問い合わせ 中小企業庁 経営支援課 TEL 03-3501-1511(代) 内線5331

連携プレーでにぎわいを

～松山の商店街がOB人材を生かす～

[視聴覚教材No. TV16-19](#)



愛媛県松山市にやってきた志垣さん

今日お訪ねする松山中央商店街連合会は、中心市街地にある4つの商店街振興組合の連合会。商店街が抱える多くの課題を連携を取ることで解決しようとしている。



連合会の日野会長。国による商店街マネジメント事業などを利用して、ある人物を商店街マネージャーとして招き、様々な取り組みをしているという。

その人物というのが三越に40年勤めた森事務局長。デパート勤務時代から商店街と親交があった。「商店街にも組織的な運営が必要ということで取り組んでいる。」と話す。



毎月1回行われる事務長会。各商店街がコミュニケーションをとり、情報を交換する。「各商店街の持つ強みを全体に波及させ、商店街全体のパワーにする。」と森事務局長は説明。

POINT: それぞれの強みを全体へ



Mシスターズは、まちづくりの勉強をしている地元の大学生たちが商店街の活性化のために自主的に始めたグループ。ゴミ拾いや挨拶などの活動をボランティアで行っている。



森事務局長は「商店街の古い発想だけでは、客は満足しない。商店街は商売だけでなく、コミュニティの場。若い感性を商店街に入れるのは重要。」と地域との連携を強調。

POINT:

発想の幅を広げないとお客様は満足しない。

商店街は商売だけでなく、コミュニティの場所でもある。



マネジメント事業推進委員会の前田氏は、「これまで商店街ごとに個別に対応してきたが、1つの商業地として魅力を打ち出すことが必要だ。」と話す。



中小企業診断士による店舗診断を400店舗に対して3年かけて実施し、課題を見つけた。



中小企業診断士の東矢氏は、「診断の意見の対応に各店で差がある。意見をもっと吸収できれば街の活性化になる。差が大きいことが問題。」と指摘する。



様々な取り組みにより、賑わいを再生しようと努力する商店街。戦いは続く！

[ひとつ上の階層へ](#)

[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN